

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう

2026年5月3日兵庫憲法集会、1万人規模の開催決まる！

☆2026年5月3日(日)

13時～

☆神戸・みなとの森公園

☆規模・・・10000人

☆メインゲスト

・高校生平和大使

☆音楽ゲスト

・川口真由美さん

☆集会成功のための

賛同金のお願い

“戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会”の企画が11月19日総がかり行動兵庫実行委主催による『プレ集会』で発表され集会参加者の賛同で決まりました。この日の学習講演内容は右記事の通り。



講演する太田氏19日、神戸市中央区

羽柴修弁護士が「勝ち取った平和を守り続けなければならぬ」と主催者あいさつしました。

興達上国」の声も聞き、戦争しないしかけをアジアでつくる外交をすべきだ」と語りました。

「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫実行委員会」は19日、太田昌克共同通信論説委員を講師に講演会「人類と核の80年」を神戸市中央区で開き、100人が参加しました。太田氏は高市首相の非核三原則の「持ち込まず」を見直し発言について、有事が発生すれば核兵器貯蔵が予想される嘉手納、三沢基

抑止力論から脱却を
総がかり兵庫県実行委が講演会

2025.11.22
しんぶん赤旗

淡路九条の会・上脇教授と憲法学習

11月16日、淡路九条主催の憲法学習会が洲本福祉会館で行われ81名が参加しました。

講演は神戸学院大学の上脇博之教授。今回のテーマは「政治資金と壊憲」で、はじめに平和憲法が造られた歴史から、今日の日米軍事同盟下までのさまざまな“壊憲”を解りやすく説明しました。

そして憲法で定められた議会制民主主義が実現できない「小選挙区制」が強行され、それが自民党の自浄能力も奪い、あらゆるところで使途不明金が跋扈する事態になった経過も語りました。

参加者の感想が多く寄せられました。

「レジュメに具体的な数字などが記載され、お話がすごく解りやすい」、「憲法がつけられた時の話をもっと聞きたかった」、「国民が主人公の日本にするため、小選挙区制はやめさせねば」、「改憲ではなく壊憲だ、はまさにその通り」、「難しい問題をじっくり腰を据えて調べ、人を納得させられるお話にされ、勉強になりました」などなど。

会場で呼びかけられた「九条の会活動支援」

坪井裕二
4日

11月19日の行動JR住吉駅

東灘区憲法共同センター 夕方宣伝。

広範な民意を切り捨てる定数削減よりも、国民が今、求めている消費税減税！物価高騰対策！企業献金禁止！の議論を！10名が参加。寒い中でしたが、議員定数削減反対署名、2桁の署名数が集まりました。

一JR住吉駅改札前一



のうったえに、なんと54000円もの協力がありました。